

# SHORT SHORTS ACADEMY ハリウッド・ストーリーテリング脚本講習

## ハリウッド映画の「基本フォーマット」を学ぶ

**ハ**リウッドで脚本家、脚本分析家（スク립ト・アナリスト）として活躍する田中靖彦さんが脚本の仕組みを独自の概念を使って説明するハリウッド・ストーリーテリング脚本講習が8月、9月の2カ月にわたって開講される。今や世界の映画作りの「スタンダード」、ともいえるハリウッドで行われている脚本作りのテクニックを集中的に身につけることのできる講習とはどんなものなのか。まずは脚本分析の基本となる「ストーリーテリング」という考え方について田中さんにうかがった。

「ストーリーテリングとは、相手に物事を伝えるという「行為」、であり、ストーリーテリング術とは、その行為をいかにうまく実行するかの「テクニック」です。僕のクラスでは、ストーリーテリングのテクニックを上達させるためのトレーニング法を具体的に教えます」

今回の講習は基礎1コースと基礎2コースに分かれている。基礎1コースでは最初にすべての脚本のベースとなっている「基本フォーマット」について学ぶ。

「アメリカでは、60年代半ば頃から、いかにしていい脚本、ヒットする脚本を書くかについて、徹底した分析が行われました。その結果、ハリウッドが手にしたのは、1：2：1の比率から成る3アクト構成をベースにした非常にシンプルな「基本フォーマット」でした。現在でもハリウッドは、この「基本フォーマット」に絶大なる信頼をおいて物語を製作し続けています」



講習では「状況設定」「葛藤」「解決」という三つのパートからなる3アクトの基本構成を理解した上で、それを使って受講者それぞれが「旅の地図」を作成していく。

「物語の行程を、主人公の目を通して間接体験する『旅』とみなし、いろいろな作品を実際に分析します。各作品の『地図』を作る（マッピング）自体が、その作品を分析することになるのです」

脚本作りという観点から「ストーリーテリング」を学んでいく場ではあるが、ここで習得することのできるテクニックは、様々なビジネスシーンで役立つ可能性も秘めている。

「監督、プロデューサー、配給会社等、映画やコマーシャル製作に携わる人々は勿論、俳優、投資家、芸能プロダクション、広告、出版業界など、効果的なプレゼンテーションを必要とするあらゆる職種の人たちが、クラスを受講しています。成功するイベントのプランを立てたり、日常生活の中で効率のよいスケジュールを作る時などにも役立ちます」

映画の根幹となる脚本を学ぶことは、映画そのものを新しい視点でとらえ直す第一歩となりそうだ。

### 連絡先

〒151-0051  
東京都渋谷区千駄ヶ谷  
4-12-8 SSUビル4F  
TEL：03-5474-8330  
メール：info@pacvoice.com

### HPアドレス

<http://www.pacvoice.com/hs/>

※米国アカデミー賞公認国際短編映画祭  
**SHORT SHORTS FILM FESTIVAL**  
& **ASIA オフィシャル講座**  
<http://www.shortshorts.org/2010/>

### 今後の講習日程

- 基礎1コース：  
2010年8月27日（金）・28日（土）・29日（日）
- 基礎2コース：  
2010年9月3日（金）・4日（土）・5日（日）
- 申し込み締め切り日：2010年8月23日（月）
- お申し込み・お問い合わせはこちらから  
PC：<http://www.pacvoice.com/hs/>  
携帯：<http://www.pacvoice.com/hs/mobile/>

### 受講者からの声

- 「ストーリーを楽しむ方法、楽しませる方法を理屈で理解出来た」（製作配給会社勤務）
- 「『お話』が、実体験などからロジック、で作られている事を知りました」（作家）
- 「映画の見方が全く変わった事」（TV番組編集マン）
- 「今まで映画を見て疑問だった事が、クリアになりました」（俳優）
- 「構成やテーマの伝え方など、日本のシナリオスクールとは違う事を学びました」（CMディレクター）
- 「映像のひとつひとつに意味がある事」（雑誌編集者）
- 「脚本が書きたくなりました」（製作配給会社勤務）
- 「すばらしい脚本が書けるのではないかと、という自信」（ゲームデザイナー）
- 「パーソナル・プロットの話など、自分自身の事を考えるきっかけになった」（指圧・マッサージ師）